

草加市議会議員 草加市の「未来の扉」を皆さんと開く



関

せき
かずゆき

一

幸

市政報告



http://www.wan-happy.jp

「快適都市・強いまち草加」の実現に向けて
誰もが安心してくらするまち・住んで良かったと思える街を目指して

祝：草加市民栄誉賞授与！

ロンドン五輪男子体操競技出場4選手に授与

草加市では、スポーツ、文化、芸術等の分野において、輝かしい業績を築かれ、広く市民の誇りとして敬愛され、市民に夢と明るい希望を与えることに特に功績があった方の栄誉を称えるため、「草加市民栄誉賞」を創設しました。

この度、ロンドン五輪体操競技男子団体において、見事に銀メダルを獲得された日本代表選手のうち、草加市在住、草加市出身の4選手に、第1号となる市民栄誉賞、同特別賞を授与しました。

市民栄誉賞：内村 航平 選手

同 特別賞：山室 光史 選手、田中 佑典 選手、
加藤 凌平 選手

草加市は「スポーツ健康都市宣言」を行い、スポーツを通じた心と体の健康づくりを進めてきましたが、平成24年度から「SKT24推進事業」に取り組んでいます。

日常生活の動作も運動量として換算し、週24エクササイズの実践を推奨するもので、楽しみながらの健康づくりを推進します。



草加市議会議員
建設環境委員長

関 一幸

秋も深まり、いよいよ冬の到来を感じさせる時節になりました。

早いもので市議会議員選挙の改選が終わり振り返りの2年が経過しました。

この2年間では、1期目でなしえなかった地域の課題や私のライフワークである地場産業の活性化、教育の現場の環境改善に腰を据えてじっくり取り組むことができました。少しずつではありますがそれぞれの課題が改善の方向に進んでいます。

この度、10月26日に開会された臨時議会において委員会の改選があり、草加市議会の常任委員会である建設環境委員会の委員長を仰せつかりました。昨年の震災を受け市内の道水路や橋りょうなどのインフラ設備の耐震化の見直しは急務の事業です。また、地域のエネルギー政策のあり方や地球温暖化問題など現在進行中の環境的課題に取り組むのも建設環境委員会です。

市民生活にとって身近な課題を担う委員会ですので改めて身が引き締まる思いです。市民の皆様のご意見、ご提言をいただきながら精一杯職責を果たしていく所存ですので、これからもご指導よろしくお願いいたします。

さて、市議会9月定例会は8月30日から9月20日まで行われ、人事案件を含む議案35件及び請願2件が審議されました。特に、9月定例会は皆様からお預かりしています税金が一年間どのように使われたのかを審議する平成23年度決算の内容もありました事から、その概要や重立だった議案の内容について議会報告を作成しましたのでお手に取ってご覧いただき、市政や地域に関わるご意見、ご提言、ご要望をお寄せいただければ幸甚に存じます。

皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

TEL:048-923-1188 FAX:048-927-8818

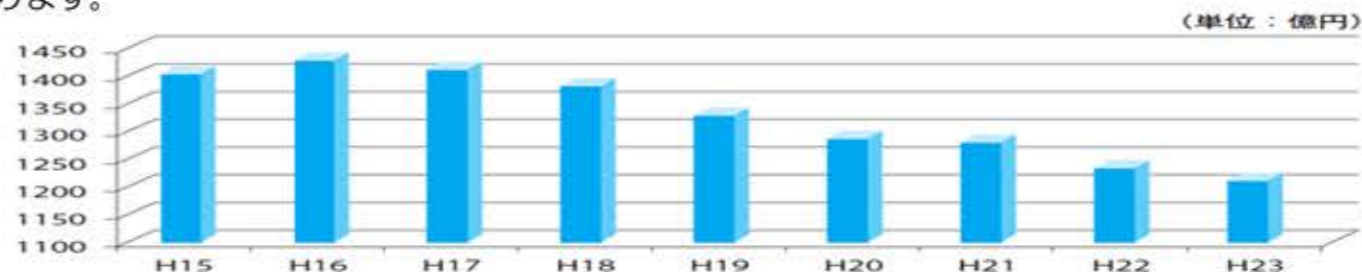
平成24年9月定例会提出議案・報告について

「平成23年決算認定10件、平成24年補正予算案8件、条例案8件、契約5件、財産の取得2件、区域の新設1件など、合計35議案を、市長提出議案のとおり可決」

平成23年度決算について

歳入：22年度 69,361,034円 23年度 67,232,157円
歳出：22年度 66,155,785円 23年度 62,526,015円
市債残高 1213億円（一般会計・特別会計・企業会計・土地開発公社の合計額）

市債は市の借金であるため、将来に大きな負担を残さないよう、適正な管理運営を行う必要があります。平成16年度以降市債等の残高は減り続けており、この7年度間で約213億円減少しました。市民1人当たりに換算すると、平成23年度は約49万7000円の借り入れがあることとなります。



草加市議会議員 草加市の「未来の扉」を皆さんと開く



関 一幸
せき かずゆき

市政報告



<http://www.wan-happy.jp>

平成24年補正予算について

地方交付税の増額や平成23年度決算に伴う繰越金の確定に伴い、◆事業進捗への対応、◆被災者支援及び地震対策、◆各基金への積立て（財源の確保）を行うため、平成24年度予算の補正を行います。

◆事業進捗への対応

- ・道路交通安全施設整備事業『ゾーン30』《補正額：約690万円》
⇒清門町（約20ha）の生活道路を最高時速30kmに規制します。
☆近年、生活道路における歩行者と車両による交通死傷等が多発していることから、歩行者・自転車の安全対策を推進するため、埼玉県警と連携し、速度規制を行うとともに、路側帯を設け歩行空間を確保します。
☆平成24年度から順次市内6箇所を実施予定となっています。
- ・新田駅東口地区市街地整備事業《補正額：約6億7,000万円》
⇒今後のまちづくり用地として、約3,000㎡の用地先行取得を行います。
- ・自立地域生活支援事業《補正額：約2,900万円》
⇒特別支援学校卒業生等の通所施設確保のため、約270㎡の用地取得を行います。

◆被災者支援及び地震対策

- ・被災者生活支援事業《補正額：約200万円》
⇒草加市へ避難している避難者へ、生活一時金として1万円を支給します。
- ・家具転倒防止器具取付費用助成金《補正額：180万円》
⇒申請枠を200件へと拡大し、1件あたり9,000円の助成を行います。
☆10月9日（火）から申請の受付を開始します。
- ・災害時子ども安心メール《補正額：130万円》
⇒緊急時における子育て支援施設と保護者の連絡体制を充実させるため、メール配信システムや災害時優先通信機能付き携帯電話を導入します。
☆配信システムは平成25年2月中旬から運用開始予定
☆対象施設：74施設（公立・民間保育園、家庭保育室、児童館等）

◆各基金への積立て《積立総額：約43.9億円》

- ・公共施設整備基金積立金《補正額：15億円 基金残高：約19億円》
- ・庁舎建設基金積立金《補正額：3億円 基金残高：約8億円》
- ・みどりのまちづくり基金積立金《補正額：15億円 基金残高：約16.3億円》
- ・財政調整基金積立金《補正額：約10.9億円 基金残高：約43.8億円》

（仮称）草加市立谷塚西文化センター建設工事

市民の学習と交流の場としての機能と防災機能を備えた地域の拠点を整備するため、老朽化した谷塚西公民館を建て替え、（仮称）谷塚西文化センターの建設が始まります。
※谷塚西文化センターの完成パース



暴力団排除条例の制定

暴力団の排除に関して基本理念と暴力団の排除に関する基本的事項を定め、暴力団排除を推進し、市民生活の安全と平穏を確保することを目的としています。

◆施行期日：平成24年10月1日

◆条例に規定する草加市独自の禁止事項

- ・祭礼等における措置 → 市内で開催する祭り等の行事に携わる者が暴力団、暴力団員と密接な関係を有する者でないことを確認するように努める。
- ・公共施設の使用の不許可等
- ・虚偽の養子縁組における措置

財産の取得について

◆新田駅西口土地区画整理事業用地
金明町ふれあい第3広場等約11,700㎡の用地を取得し、現場事務所の建設等、土地区画整理事業の一部先行実施を行います。

◆草加駅東口都市防災広場整備事業用地
コンフォール草加の隣接地を、防災広場として整備するため、用地の取得します。

